

## 外部評価の今後の進め方について(案)

### 1 検証報告の提言における外部評価の位置づけ

検証報告 「4課題を踏まえた提言」の「(7)過去の検証報告書の進捗状況についての検証機会の必要性」

これまで複数回の提言が出されながら、市では、本事例の発生前に、提言に対する実施状況についての自己評価、外部評価の機会は持たれていなかった。

今後は、自己評価はもとより、市内外の専門家の知見も活用して、報告書の取組状況について評価をしっかりと行うべきである。

### 2 第2回札幌市児童虐待防止対策推進本部会議からの依頼内容

○開催日：11月9日(月)

○依頼内容

(1) 児童福祉部会に取組状況等についての評価を依頼する。

(2) 評価の時期としては、

①令和3年5月頃に開催予定の本部会議において、検証報告の提言を受けた具体的な取組内容、その実施状況や自己評価等について整理する。

②令和3年6月頃開催予定の児童福祉部会において、取組状況等を報告のうえ、それ以降において評価を行う。

### 3 今後のスケジュール

○本日開催の児童福祉部会

・評価の進め方や体制等について検討

○令和3年2～3月に開催予定の児童福祉部会

・評価の進め方や体制等について決定

○令和3年5月頃に開催予定の本部会議

・提言を受けての取組状況等について整理

○令和3年6月頃に開催予定の児童福祉部会

・取組状況等について報告